課題：消防団員の情報管理と消防団応援の店事業における円滑フロー、災害情報共有ソフトウェア

課題の詳細

- 消防団員の新入団員の登録情報が紙ベースでの提出のため、消防団情報システムへの入力事務に時間がかかる。
- 近年、被雇用率の増加及び地域住民の意識の変化等により、消防団員の担い手が不足している。※消防団員の年齢18歳～（平均35.2歳）
- 消防団員担い手不足解消のため、消防団応援の店事業（市内登録店で割引サービス等（例：ドリンク一杯無料）を受けられる事業）を来年度から始めるが、消防団員と確認する団員証が現在ない。
- 団員証カードを作成予定だが、新規団員登録の際など継続的にコスト・手間がかかる。
- 台風等の災害時、消防団員で地域の見回りを行っているが、災害状況を報告する専用ツール・様式等がなく、LINEで報告してもらっている。

消防団とは・・・（総務省消防庁 消防団HP参照　https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/）

糸島市 様

開発して欲しいソフトウェア・システム

- 消防団員の登録情報を各自で入力し、分団長が承認して消防本部に情報が届き、消防本部では入出力ができてほしい。
- 消防団員の登録情報から（消防団、消防団員らしい）団員証が作成され、消防団応援の店事業の登録店へ提示することによりサービスを受けることができてほしい。
- 消防団応援の店事業では、登録店のサービス内容が確認でき、どの登録店でどのくらいの利用があったのかを消防本部で把握できてほしい。
- 消防団応援の店事業以外にも、消防団員担い手不足解消のための工夫があると良い。（特に、若い世代が関心を持つ仕組みがほしい。）
- 災害発生時の情報（写真、位置、コメントなど）を消防団員が入力・共有でき、消防本部では出力できてほしい。
- 消防団員、消防職員以外に登録情報や災害情報等が漏れないようにしてほしい。
- 掲示板機能がついているとうれしい。